



本社工場でのプレカット材の製造風景

- 本社所在地：京都府京都市右京区京北鳥居町昇尾8番地の2
- 事業概要：国産材プレカット加工を軸とした住宅建材の製造・販売
- 常時使用する従業員：43人（2024年7月期）
- 現在の売上高：26億円（2024年7月期）
- 法人番号：1130001026055
- Web：https://www.keihoku-precut.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
安藝 敏哉

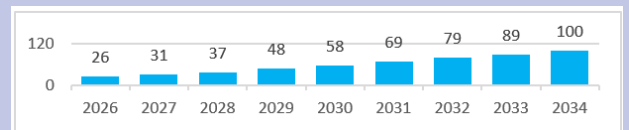
木の力を活かし、人と山を結び、循環と技術で新たな価値創造

京北プレカットは木材を通じ、森と人の営みをつなげ、木のある暮らしをより豊かに持続できる社会の実現を目指しています。
山の資源を正しく使い、再び植え、また使うという木の循環を地域に根ざして支えることで、環境と経済が調和する社会を実現したいと考えています。
私たちは、工場の設備投資や職場環境の整備、そして仲間である社員の処遇改善に継続的に取り組みながら、木とともに成長できる企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年までに、高耐久処理木材「CGWOOD」の製造・販売体制を確立し、年間出荷量13,000m³以上、売上規模100億円超を目指す。地域林業と連携しながら、国産材の新たな価値を創出し、木材産業の再構築に貢献する。



課題

- ・処理効率・設備稼働の最適化（処理時間短縮・コスト低減）
- ・製品仕様の多様化対応（用途別形状・仕上げ）と営業体制の整備
- ・加工・物流・販路の複層的な外注ネットワークの標準化
- ・輸出先市場（北米・東南アジア等）における認知度の向上と規格対応
- ・人材の採用・育成と技能の体系化（薬剤処理技術者の確保）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・含浸・加熱・加工設備の継続投資により、量産対応力と処理品質の安定化を推進
- ・外注加工・物流連携を強化し、小ロット対応型の柔軟な供給体制を構築
- ・大手商社との連携による北米・アジア市場への販路形成と輸出モデル構築
- ・処理技術者・営業人材の育成制度を整備

実施体制

- ・経営層が事業全体を統括し、製造・営業・管理各部門にリーダーを配置
- ・技術連携体制により、処理技術の外部検証・改善PDCAを継続
- ・販路（大手商社など）との連携を通じ、事業開始後の初期販売を迅速に立ち上げ
- ・地域製材・京都市バイオ事業等からの協力を得て複数ルートで確保

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです